

令和の都だざいふ型観光

九州初「ユニバーサル地図/ナビ」サービスを提供開始

昨年度、令和の都だざいふ型の新たな観光を目指し、本市と全日本空輸株式会社、ANAあきんど株式会社、NPO法人バリアフリーネットワーク会議が共同で「Universal MaaS」のプロジェクトを開始し、本年5月21日(水)に九州で初めて「ユニバーサル地図/ナビ」サービスの提供を開始しました。

このサービスでは、トイレやスロープの場所などの公式なバリアフリー情報と、ユーザーが利用して投稿した情報を地図で知ることができます。

今後も、年齢や障がいの有無などに関係なく、すべての人が安心して観光を楽しめる取り組みを進めます。



サービスを実演する利用者

団体・個人からの寄付

市内の子ども食堂に寄付をいただきました

市内の子ども食堂団体に対し、こどもたちの健全な成長と地域の安心できる居場所づくりに役立ててほしいと、次の皆さんから寄付がありました。責任をもって団体へ渡し、大切に活用します。

- ①株式会社サントラスト
- ②福岡SDC (福岡県ダンススポーツ連盟)
- ③宮本 雄二さん (令和の都だざいふ応援大使)



寄付されたお米

令和の都だざいふ「梅」プロジェクト

梅ちぎり体験、梅の実収穫祭を開催

本市初の一般向け梅ちぎり体験を大宰府政庁跡で5月17日(土)に開催しました。市内外から親子など8組21人が参加し、梅の実の収穫を楽しみました。参加者からは「収穫する時のプチプチという音に癒された」「子どもが届く高さにも実があって喜んでいた」と好評でした。収穫後は、梅ジュースをふるまいました。

また、福岡農業高校と事業者による梅の実収穫祭を5月19日(月)に開催しました。収穫した約90kgの梅の実実は高校へ提供され、今後の「梅」プロジェクトの製品開発などに活用されます。



梅の実を収穫した生徒たち

まちのトピックス

世界に羽ばたく人材育成

第72回太宰府柔道剣道大会を開催

4月27日(日)に柔道大会、29日(火・祝)に剣道大会が、総合体育館(とびうめアリーナ)で開催されました。市主催の歴史ある大会で、武道を通じた青少年の健全育成が目的です。

柔道大会の結果 (敬称略)

区分	種目	成績	氏名
個人	小学2年生の部	準優勝	鈴木 将磨
個人	小学3・4年女子の部	準優勝	川崎 杏莉
個人	小学3・4年男子の部	優勝	瓜生 奏輔
個人	中学1年男子の部	準優勝	津曲 輝之丸
個人	中学2・3年男子の部	準優勝	津曲 琉之心
個人	中学女子の部	準優勝	伊藤 愛莉



柔道大会の選手宣誓



剣道大会の入賞者

剣道大会の結果 (敬称略)

区分	種目	成績	氏名・団体名
団体	小学低学年の部	優勝	太宰府振武会A
団体	小学高学年の部	準優勝	太宰府振武会A
個人	小学1・2年生の部	準優勝	山内 戒斗
個人	小学3・4年生の部	準優勝	石橋 鼓太

私のだざいふ

大宰府史跡解説員

もく お みき お
空尾 幹雄さん



大宰府は1300年ほど昔の古代都市です。ここを守るために造られたのが筑紫平野を堰切って造った1200mの長さの土塁が水城で、その翌年に造られたのが政庁の背後の高さ400m、長さ8kmの土塁で囲まれたのが古代山城の大野城(四王寺山)で、政庁の正面、南の方、遠くに見える大野城と同じぐらいの高さの山が5kmの土塁で囲まれた基肄城です。

私は大宰府史跡解説員ですが高齢になりましたので政庁横の大宰府展示館でこれらの歴史遺構を見学に来られる来訪者(国内だけでなく台湾、中国、東南アジア、オーストラリア、ヨーロッパなど)に大宰府の説明をしております。

見学の方は大変驚いて、有名な大宰府を身近に見聞することが出来て喜んで帰られます。

こんな見学者の様子を見ていると太宰府の市民であることを誇りに思いますし、楽しいです。これが「私のだざいふ」です。

市政ニュース

世界に羽ばたく人材育成

令和の都だざいふ応援大使の講演会を開催

本市出身で令和の都だざいふ応援大使の宮本雄二・元中国大使の講演会を5月19日(月)、市内高校・大学の3校で全世代が参加する形で開催しました。

この講演会は、宮本さんが生まれ育った故郷に恩返ししたいという想いから実現し、世界で活躍した経験から特に若い世代へメッセージを伝えました。

本市では、今後も令和の都だざいふ応援大使の協力なども得ながら、特に若い世代が世界に羽ばたくきっかけとなる機会を提供していきます。



市内高校で講演する宮本さん

民間企業との連携

アビスパ福岡応援デーを開催

昨年8月にアビスパ福岡と「フレンドリータウンに関する協定書」を締結し、5月31日(土)に本市初のアビスパ福岡応援デーを開催しました。小学生・保護者300組600人を無料招待し、エスコートキッズやアビータッチのイベントにも参加しました。会場では、本市PRブース設置やハーフタイムの楠田市長とおとものタビットの挨拶などを通してまちの魅力をPRしました。

本市はこれからもアビスパ福岡を応援していきます。



アビスパ福岡応援デー会場の様子